

ちいきのわだい

11月7日
角館地区

現代の名工 榊細工職人 経徳明夫さん受章



現代の名工 経徳明夫さん

厚生労働省は、この度、平成25年度の卓越した技能者(通称「現代の名工」)の表彰対象者150人を決定し、仙北市から榊細工職人の経徳明夫さん(角館町)が選ばれました。

昭和42年創設のこの制度は、卓越した技能を持ち、その道で第一人者と目されている技能者を表彰するもので、技能の世界で活躍する職人や技能の世界を志す若者に目標を示し、技能者の地位と技能水準の向上を図ることを目的としています。

経徳さんは、榊細工に従事し始めた昭和40年から現在に至るまで技術に磨きをかけ、優れた作品を次々と送り出しています。榊細工には「型もの」「木地もの」「タタミもの」の技法があり、そのすべてを習得した経徳さんが作り出す作品は、全国伝統的工芸品公募展で、入選、入賞の実績が多数。角館町榊細工伝統工芸展では、開催38回のうち知事賞を9度受賞し、39回からは特別出展扱いとして審査対象外となり、別枠での展示となっています。また、伝統工芸士として角館榊細工伝承館で実演を行い、県内外の観光客に榊細工の魅力を伝え、若手従事者の育成も行っています。

今回の受章に経徳さんは「業界や行政の協力があった。今後も作品を見た方々が感動するようなものづくりをしていきたい」と喜びを語りました。

11月21日
市役所田沢湖庁舎

郵便局長会仙北北部会 「遭難注意」看板寄贈

秋田県東部地区郵便局長会の仙北北部会(会長・渡邊訓弘羽後白岩郵便局長)から仙北市に山菜やキノコ採り時の遭難に対し注意を喚起する看板8枚が11月21日、寄贈されました。

同会は、地域公益事業推進活動の一環として地域に貢献する活動を毎年続けていて、昨年は「ゴミの不法投棄禁止」の看板を寄贈。市では寄贈された看板を来春、田沢湖玉川周辺に設置し、遭難への注意を呼びかけます。



門脇市長に看板を手渡す渡辺会長(左から3人目)と郵便局長の皆さん

12月4日
角館中学校

中学生の「税についての作文」 市内中学生受賞

作文を通じて中学生に税について関心を持ち、正しい理解を深めてもらうべく、国税庁と全国納税貯蓄組合連合会



受賞した橋本さん。「税についてまだまだ知らないことが多いので、今後知識を深めたい」と話しました。

(納貯連)が共催で募集していた「税についての作文」で、橋本琉さん(角館中2年)の作品「税について」が東北地区納税貯蓄組合連合会長賞を受賞し、12月4日に六戸正義大曲税務署長と高橋達仙北地域納貯連副会長が角館中学校を訪れ、表彰状を伝達しました。

また、佐藤海里さん(同3年)が大曲税務署長賞、山本和輝さん(同1年)が大曲地区税務団体協議会長賞、日辻功栄さん(同3年)と浅利賢宏さん(松木内中3年)が仙北地域納税貯蓄組合連合会長賞、加賀谷志乃さん(角館中3年)と佐藤朱さん(西明寺中2年)が仙北地域納税貯蓄連合会長特別賞を受賞しています。

11月15日
生保内市民体育館

田沢湖地区老人クラブ連合会 創立50周年記念 第8回老人クラブ大会

11月15日、生保内市民体育館で田沢湖地区老人クラブ連合会老人クラブ大会が開催され、活動の推進や育成発展に尽力されたとして、次の方々が表彰されました。(敬称略)

育成功労者

浦山英之助(葉桜会)、高橋妙子(田沢寿会)、越後谷シズエ(田沢第一老会)、千葉勝雄(湖寿会)、千葉ナツノ(北部長寿会)、松田イエ子(中生保内会)、門脇トモ子(新生会)、田中和加(武蔵野会)、渡辺徳朗、岩崎満(以上、武蔵野悠遊会)、西野正子(生保内中央会)、畠山ミヨ(向生保内朝日会)、小玉正子、田村サタ(以上、刺巻老会)、真崎トキ(卒田もみじ会)、松田謙治郎(荒町金



活動に尽力された個人・クラブを表彰

12月1日
角館中学校

第9回仙北市卓球大会 白球打ち合い熱戦展開

12月1日、角館中学校体育館を会場に仙北市卓球大会が行われました。

仙北市卓球連盟(大平弘司会長)主催のこの大会に小学生から一般まで約200人が出場し、熱戦を繰り広げました。



熱戦が繰り広げられた卓球大会

大会成績(敬称略)

- 団体戦
- 《優勝》AFC T T A
 - 《準優勝》てくてく倶楽部D
 - 《第3位》卓楽会、卓磨会
- 個人戦
- 一般男子1部《優勝》水戸幸正 《準優勝》斎藤雄馬 《第3位》阿部多馬、阿部和範
 - 一般男子2部《優勝》小田田成喜 《準優勝》三河研太郎
 - 《第3位》阿部伸也、黒澤一彦
 - 一般男子3部《優勝》藤原良隆 《準優勝》中村和彦 《第3位》大平弘司、谷藤祐二
 - 一般女子1部《優勝》柏谷有紀 《準優勝》伊藤愛心里 《第3位》大和田凜、高橋葉月
 - 一般女子2部《優勝》小林真澄 《準優勝》浜野彩香 《第3位》中嶋りえ
 - 一般女子3部《優勝》藤本順子 《準優勝》菅原艶子 《第3位》三浦貴美子、高橋和子
 - 中学1年男子《優勝》鈴木隆星 《準優勝》浅利賢 《第3位》藤村起裕、山田凌
 - 中学2年男子《優勝》藤澤和 《準優勝》伊藤彰吾 《第3位》永山敦也、草薨未丸
 - 中学生女子《優勝》伊藤亜莉沙 《準優勝》黒澤月菜 《第3位》藤原舞香、加藤南美
 - 小学生《優勝》三河翔太 《準優勝》伊藤和磨 《第3位》草薨未怜、草薨皓太

12月4日
市役所田沢湖庁舎

天理教仙北支部婦人会 長年の活動に厚生労働大臣感謝状

天理教仙北支部婦人会の行ってきた長年のボランティア活動に対して、厚生労働大臣感謝状と記念品が送られ、12月4日、市役所田沢湖庁舎で贈呈式が行われました。

同婦人会は、昭和36年の設立当初から寿楽荘へ毎月1回の清掃奉仕など様々な奉仕活動を行ってきました。

代表者の大友和子さんは「先輩たちの思いを受け継いで長く続けられてうれしく思う。これからも続けていきたい」と抱負を語りました。



厚生労働大臣からの感謝状を手にする大友さん



仙北市主催事業紹介⑩

来年、秋田県で開催される国民文化祭の仙北市で行われる事業をシリーズで紹介しています。

国民文化祭とは、日本中で様々な文化活動に親しんでいる個人や団体が集まり、日ごろの成果や実力を発表し交流を深める「日本最大の文化祭」です。
昭和61年に東京都で開催されてから毎年、各県を巡ってきたこの国民文化祭が平成26年秋、秋田県で開催されます。



おもてなし事業

市民や企業・団体と協力し来訪者を歓迎し、観光案内やサービスなどのおもてなしで国民文化祭を盛り上げます。

- 日時** 平成26年10月4日(土)～11月3日(月)
- 会場** 仙北市内全域
- 事業内容**
 - ・駅での横断幕やのぼりによるお出迎え
 - ・マスコットキャラクターによる駅でのお出迎え、お見送り
- 問合せ** 第29回国民文化祭仙北市実行委員会 事務局 (教育委員会国民文化祭推進室内) ☎43-3315



第6回 生涯学習サークル紹介

広報せんぼく6月16日号掲載の仙北市生涯学習ガイドから主に市内で活動するサークルを紹介します。
参加してみたいなど、活動に興味がある方は生涯学習課にお問い合わせください。

【問い合わせ先】
教育委員会生涯学習課 ☎43-3383

※開催日時が変更になる場合がありますので、初めて参加される方は事前にお問い合わせください。

- サークル名 **角館大弓会**
- 活動日時 毎週火・木・金曜日 19:00～21:00
- 活動場所 角館武道館(弓道場)
- 会員数 20人。自分のレベル(初心者から国体選手まで)で弓道を楽しむ。

若年者からシルバー年代まで続けられる武道ですが、稽古はマイペースで、しかも自身との闘いです。的を射る緊張感と達成感他競技では味わうことのできない醍醐味です。道場のたたずまい(雰囲気)は凛として、座っているだけでも心が落ち着きます。

初心者には指導者が丁寧に指導しますので、安心して仲間入りできます。初心者大歓迎です。

- その他 弓道を仙北市民の代表的スポーツにしたい。小学5・6年生、中学生の会員募集。



仙北市のできごとをお届け
ちいきのわだい

12月1日・2日
仙北市内



12月1日、細川ミツさんが白寿を迎えました。

白寿のお祝い
おめでと〜いっしょにすごします



12月2日、門脇まささんが白寿を迎えました。

このたび白寿を迎えられた方々に、市からお祝いと花束が贈呈されました。

瑞宝単光章

防衛功労



田口和彦氏

61歳：田沢湖生保内元3等空尉

瑞宝双光章

防衛功労



倉橋正和氏

61歳：宮城県(田沢湖生保内出身)元1等陸尉

本市関係者
2人が受章

政府は、第21回危険業務従事者叙勲受章者をこの度発表し、仙北市関係者2人が受章しました。
長年にわたり勤務尽力され、受章された方は上記のとおりです。

11月3日
仙北市

危険業務従事者叙勲

11月24日
角館温泉花葉館

第5回全国縄縄競技大会

11月24日、全国縄縄競技大会が角館温泉花葉館で開催され、市内外から参加した32人が縄縄の技術を競いました。
この大会は平成縄縄塾(菅原誠晃塾長)が主催し、今年で5回目。地域の運動会から行われてきた縄縄競技を引き継ぎ、総延長は9656・1メートルとなりました。
大会成績(敬称略)
個人の部 優勝(18・2歳) 松永キヨ子(由利本荘市)



個人戦は10分、団体戦は3人1組で一人5分で縄縄の長さとお出来栄を競いました。

団体の部 優勝(28・95歳) 伊藤正一(横手市)、伊藤サダ子、佐々木昭子(以上、由利本荘市) チーム

11月15日
神代小学校

神代の小学校と地域運営体がいぶり大根づくり 地域に伝わる食の文化を学ぶ

神代小学校では「地域で継承されてきた食の文化」の学習として、いぶり大根づくりに取り組み、大根の畑造りから種まき、収穫、漬け込み、販売体験を神代地域運営体と協働で行っています。
11月15日は3年生の児童が4班に分かれ、地域運営体委員の指導を受けながら、約160キロの燻された大根を手際よく洗い、準備しておいた柿や塩、砂糖などと混ぜ合わせ漬け込みました。
初めての作業に児童からは「教えてもらったことを家庭で参考にしてみたい」「材料の混ぜあわせが思ったよりうまくいった」と感想が聞かれました。



「おいしく出来ればいいな」の思いのこもった漬け込み作業

食べ頃の1月の下旬には、児童が決められた分量にカットし、真空パック詰め作業を行います。